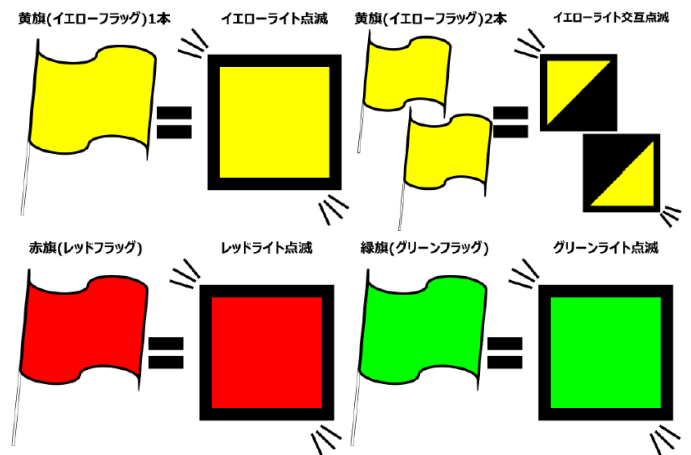


Moto フェスティバル走行会 ブリーフィング資料

1. 走行時の注意事項

必ず参加受付を済ませたライダーが走行してください。

- ① 各グループとも走行開始1周目はコース・車両、そして監視ポスト位置の確認し、慣熟走行してから本走行してください。
走行開始直後の転倒が非常に多いので特に気をつけてください。
- ② コースイン時は、ホームストレート走行している車両を配慮し、第4コーナー立ち上がりまでコース右側を走行して、徐々にレコードラインに合流してください。
- ③ ピットインする場合は、V字コーナー立ち上がりからコース右側を走行し、後続車両に手などでピットインする合図をしてください。
- ④ 赤旗中断となった場合、前後の車両に十分注意して右側によって減速をしてください。また、その周に必ずピットインしてください。
- ⑤ ピットレーンでのスピード制限は60 km/h以下です。
- ⑥ **コース内のライトパネルは、右記の通りフラッグと同じ意味です。**



- ⑦ 走行前には必ずオイル漏れのチェックをしてください。
※オイルチェックはある程度回転数を上げてから、一定時間チェックしてください。
※オイルチェックとともにブレーキ系のチェックも行ってください。
《 オイルがコース上に出ると、走行が中断されます。中断されている時間は延長となりませんのでご注意ください》
- ⑧ スロー走行時の注意
トラブル含めスロー走行を変更する場合は、コース右端を走行し続けてください。(左右端へ走行ラインを何度も変えない。)
また、進路変更する場合は後続車に対し合図を出し、後方を確認してから進路変更をしてください。
※「合図を見せてから動く」を徹底してください。
- ⑨ コースインする場合はアゴひもを必ず付けてください。
- ⑩ 車両のチェックを必ず行ってください。特にブレーキ関係は何度もチェックしてください。また、ボルトの仮締めは“うっかり締め忘れる”恐れがあり大変危険です。
- ⑪ 車両の異常を感じたら、早めにピットインして確認をしてください。

2. 転倒等のアクシデントについて

- ① 転倒してしまったら、まず安全な所にてできるだけ早く逃げてください。オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきますのでご注意ください。余裕がある場合は車両を安全な場所まで移動してください。
(グラベルを脱出するコツ・・・車両から降り、ギアをローに入れ、少しずつタイヤを回転させて移動してください。)
- ② 転倒後は、後続車に対しポストから黄旗を振り注意を促しますが、転倒したライダーもできる限り後続車に知らせる努力をしてください。
- ② 転倒後の車両のチェックは安全な場所(ガードレールのそば)で行ってください。

- ③ コースサイドでエンジンをかける行為は危険です。再スタートを試みる場合は安全な場所（グリーン上など）でエンジンをかけてください。
- ④ ガードレールの外に出るまではヘルメットを必ずかぶってしてください。
- ⑤ 走行可能な場合、カウリング内の砂利、草等を落とし、タイヤの泥なども落としてから余裕を持ってコースに復帰してください。
- ⑥ 走行できない場合は、走行終了後に車両を回収しますので、ガードレールの外側にマシンを止めてください。
またケガをしていない場合は回収にご協力ください。回収した車両はピットまでお届け致します。
- ⑦ もてぎ・鈴鹿（MS）共催会の規約に従い、コース上で発生した事故にて身体に被った傷害に対し保険金が支払われます。
当日にメディカルセンターを受診し、負傷状況を記録する必要があります。

3. 初心者ビブゼッケン

走行経験の浅い方は、周囲のライダーに知らせるために黄色ビブゼッケンを着用して走行してください。このビブゼッケンは受付にて配布いたします。（1チーム1枚です。）黄色いビブを見たら“思いやりを持って”走行してください。ギリギリで抜かしたり、かぶせたりしないでください。初心者の方は後ろから速い車両が来ていても、ラインを変えずに走行してください。変にラインを譲ったりすると危険です。

黄色ビブを着用しているライダーへの接触・進路妨害などが見受けられた場合はイエローカードが提示されます。（イエローカードが3枚提示されるとMoto ミニ 6Hours 本戦に出場することができません）

4. ピット・ピットレーン・パドックのご利用について

- ① ピットレーン・ピットガレージ内は火気厳禁です。タバコは指定の場所をお願いいたします。
- ② お子様連れのお客様は、お子様の安全確保に充分ご留意ください。お子様のピットレーンへの立ち入りは一切禁止させていただいております。
- ③ MS 共済会に入会していない方のピットレーン・ピットサインエリアへの立ち入りはできません。
立ち入る場合は、暫定共済会に入会していただく必要がございます。また、パドックへのペット同伴はできません。
- ④ ピットレーンを横断する際は、後方から来る車両があるかどうかの安全確認を行ない、最短距離で横断してください。
- ⑤ ピットレーン・ピットサインエリアでは傘など風で飛ばされる物の持込みはできません。
- ⑥ コースインする際は、各自のピットからピットレーンの係員のいる場所までお進みください。
係員が走行券・ヘルメットのあご紐・簡単な車両チェック等をおこないます。
- ⑦ お渡しする走行券はタンクの右側にお貼りください。
- ⑧ サービスロードは救急車両が通行します。競技車両は走行しないでください。
- ⑨ パドックで走行練習をしないでください。

5. 代表者ミーティング

ブリーフィングルームにて代表者ミーティングを実施します。これから大会当日までの流れをチーム代表者の方にご説明します。チーム代表者の方は責任を持って内容をチーム全員にお伝えください。参加は任意です。

6. 初心者走行枠（初心者&ならし走行枠）

- ・走行時間になったら、マーシャルバイクの後方へお並び下さい。なお、ならし走行の方はなるべく列の後方へお並び下さい。
- ・前半はコースイン、ピットインのライン確認のため、3 周毎にピットインを繰り返します。途中でライダーを交代することも可能ですが、ライダー交代は1 番ピット前で交代してください。後半はフリー走行を行います。
引き続き先導走行を希望する方はアドバイザーまでお申し出下さい。
※初心者走行は初心者用ビブゼッケンを付ける必要はありません。

《 重大事故を招く多い事例 》

- ①コースサイドでの再スタートと車両確認 ②赤旗・黄旗無視 ③ダブルチェッカー④急なラインの変更 この4つが毎回多いです。
特に“急なラインの変更”は重大事故に繋がります。ご注意下さい。

以上